

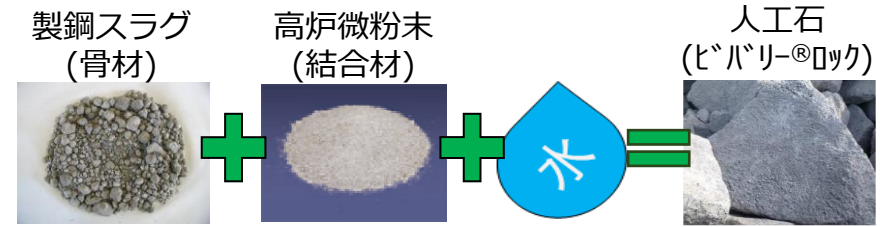
プロジェクト名：北海道森町（森地区・砂原地区）地先における鉄鋼スラグを用いた藻場造成（日本製鉄株式会社、森町）

◆プロジェクト概要

- ・日本製鉄と森町は共同で、2023年10月に森地区2か所、砂原地区3か所へ日本製鉄社製の人工石（ビバリ-®ロック）、同石材に森町の基幹産業である水産加工業から排出されるホタテ貝殻を40%混合した人工石、天然石を海底へ設置し、藻礁を造成しました。
- ・2024年5月に潜水調査を行った結果、設置した石上に海藻藻場（主にコンブ）が見られ、実勢面積にして0.2 ha、CO₂吸収量は0.4 t-CO₂と認証されました。

◆プロジェクトの特徴・PRポイント

- ・日本製鉄と森町は協働体制を構築し、藻場の造成、維持・管理、調査を実施してきました。
- ・今後も森町の主要産業であるホタテ養殖漁業及び主産業の一つである水産加工業より排出されるホタテ貝殻の活用拡大とブルーカーボンの活性化に向け藻場造成を継続していきます。



図：鉄鋼スラグから製造した人工石



図：施工の様子（2023年10月、森地区）



図：森地区における投石箇所の空中ドローン写真とホタテ貝殻入り人工石設置前後の海底の様子